市議会

留萌市第三回定例市議会は、九月二十五日から十月三日まで開かれ、追加更正予算案などを審議しました。この議会で決まった、おもなことがらは、次のようなものです。

■昭和三十七年度留萌市才入才出追加更正予算

■同港湾費才入才出追加更正予算

なお、留萌市才入才出追加更正予算は、三百八十万七千三百三十五円を追加し総額五億七千九百八十六万九千五百五十四円となりました。

■留萌市事務分掌条例の一部改正

三ページにくわしくのせました。

■留萌市職員定数条例の一部改正

事務の複雑化にそなえ、七十七名を増やしますが、そのほとんどは、市役所本庁の職員で六十一人の増です。

これは、いままで市役所本庁では百三十人の職員で事務を処理していましたが類似都市の網走二百三人、紋別百九十二人、根室百九十八人と比らべ、いかに少ない職員で事務処理をしていたかがおわかりと思います。

■固定資産評価審査委員
武田勝之助さんを再選任

■教育委員
街道重治さんを再選任

■安全都市宣言
別記のように、原田市長が議会に提案、全員一致で決議されました。

■三十六年度水道事業決算の認定
上水道工事調査特別委員会に付託

■フイッシュミール工場設立に反対する請願
特別委員会付託

■失業対策事業打切りに反対する請願
民生常任委員会に付託

そのほか、条例の一部改正、請願、陳情は、前記二件をのぞき、全部本会議で採択されました。

安全都市宣言

わが国産業経済の伸張と国民生活の向上は、まことにめざましいものがあり、わが留萌市も近代的生産都市として、市勢も発展の途をたどりつゝあるが、半面産業災害、学校及び家庭における災害交通事故、水害等の続発による惨事はまことに憂慮にたえないものがある。

もとより、かゝる災害を防止するための措置はそれぞれの分野において積極的に実施されているが、われわれは、人命尊重の理念のもとに、当市における安全組織の総力を結集し、各界をうつて一丸とする全市民運動の強力な推進が必要であることを確信する。

「国民安全の日」制定の意義にそい、市民生活のあらゆる面における安全の確保につとめ、明るく住みよい都市建設を決意して、こゝに留萌市を「安全都市」とすることを宣言する。

昭和三十七年十月三日
留萌市長　原田栄一

連隊歌募集

留萌駐とん部隊

陸上自衛隊第二十六普通科連隊（留萌）では、連隊歌を一般から募集しています。

これは、留萌駐とん部隊が、二十六普通科連隊として、明年一月十八日に創隊満一周年を迎えるため、連隊歌を作ることになったものです。

■歌詞の内容

①北方防衛の任にあたる部隊、とくに留萌駐とん部隊としての特性を生かし、連隊歌としてふさわしいもの。

②勇壮活発で、しかも隊員に親しまれ愛唱されるもの。

③行進曲として作曲できるもの。

④四節まで作詞すること

■応募範囲
自衛隊及び留萌支庁管内在住者

■締め切り
十一月三十日

■提出先
留萌市南町陸上自衛隊第二十六普通科連隊、連隊歌募集係

■審査
十二月上旬

■賞品
入賞作品及び佳作（二編）に記念品贈呈

■発表会
一月十八日（予定）

■その他
①著作権は二十六普通科連隊に属する。

②応募作品は返却しない

③応募作品には住所、氏名を明記すること。

④作曲は師団もしくは方面音楽隊長に依頼予定

市民税（2期）国保税（5期）の納期です

出張窓口もご利用ください

こん月は、市民税第二期と国保税第五期の納めていただく月です。

お忘れなく、市役所窓口で納めてください。

なお、市役所に遠い方には、便宜をはかるため、こん月も次のように出張窓口を設けますので、ご利用ください。午前十時から午後三時までお取りあつかいします。

▽二十六日峠下小学校▽二十六日藤山小学校▽二十九日大和田駅前消防番屋▽二十九日南町公民館▽三十日札受小学校▽三十日三泊小学校▽三十日国保元町診療所▽三十、三十一日開運町岸呉服店跡（二十九日は午前九時から正午まで）

❖ ❖

大通りのゴミ箱をなくする

市内大通りのゴミを集める方法がかわりました。

いままで、市内大通りには、大きなゴミ箱が路上に置かれ、街の美観からも、あまり好ましくありませんので、今後大通りからは、大きなゴミ箱をなくすることになりました。

これに伴い、市内港町武藤商店から十字街、神社下を通つて駅前までの通りと十字街から市立病院までの通りに面する方のゴミ箱は一日のゴミが収容できるていどの小さなものにし、しかも、路上ではなく家の軒下か、家などの中など、あまりめだたぬ所においていただくことになりました。

もちろん、この地区のゴミは、清掃車が毎日まわり鈴をならしますので、付近の方は、ゴミを集めやすいように出してもらいます。

国民年金のかけ金を忘れず

国民年金のかけ金を納めていただく時期になりました。

かけ金は、三カ月ごとに納めることになつていますが、十月はその納期になつています。

国民年金手帳と料金を持つて国民年金係で手続きをすませてください。

教育映画の学校巡回

第四回教育映画の学校巡回は、十月中次の日程で行われます。

映画は、劇映画「なかよし特急」ほか四本。

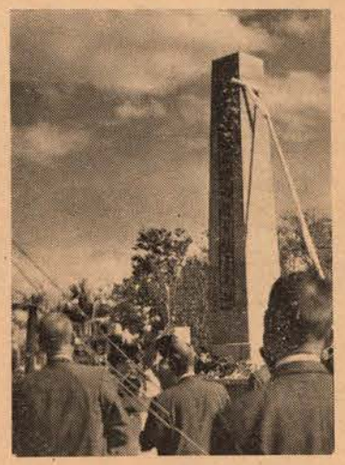
▽一日中幌小▽二日峠下小▽三日豊平小▽四日三泊小▽五日港北小▽六日礼受小▽八日～十日東光小▽十一日～十三日留小。

なお、二十二日からは第五回巡回がはじまります。

涙もあらたに除幕

千望台　樺太引揚三船慰霊碑

はるかに遭難の海上をのぞみ、慰霊碑が建てられました



千望台に、樺太引揚三船慰霊碑が建てられました。

この慰霊碑は、昭和二十年八月二十二日、留萌沖で国籍不明の潜水艦に撃沈された小笠原丸、第二新興丸泰東丸の樺太引揚者千七百八人の霊を、まつるため建てられたものです。

建碑実行委員会が中心となつて進められたこの計画は、一年前の六月から具体化し、百二十二万円をかけ町村道知事の筆になるりつぱな碑が、できあがりました。

九月二十二日、広く道内はもとより、遠く本州方面からも遺族が集まり、第二新興丸の遺族、札幌市の会社員坂井照子さん（一九）の手で、除幕の式が行われました。

来賓の町村道知事、原田留萌市長らのことば、えんえんと続く焼香の列に、集まつた遺族は、当時を思い出して、新らたな涙にくれていました。

なお、この慰霊碑が建てられたことによつて、さらに観光地〝千望台〟にいろどりをそえることになります。

“お待ちかねの母子年金ですよ”

2人の母子家庭に初支給

九月五日市内春日町の斉藤タツノさん、錦町の木村澄子さんの二人に、市役所市長室で、原田市長からこの年金証書が手渡たされました。

この年金は、拠出制母子年金といい、保険料を毎月生活の柱とする夫に先だれ、途方にくれていた母子家庭にこのほど国民年金の母子年金が支給されることになりました

忘れずにかけていたのが幸いして、支給されることになつたものです。

国民年金制度は、農、漁商店などのしごとをしている人たちや、家庭の主婦を対称に、生活を保償するためにはじめられました。

このため、毎月保険料をかけていただくわけですがこんど年金を受けた二人のおくさんは、国民年金制度がはじめられてから、いままで忘れず保険料をかけていたことが幸いし不幸にしてことしの六月夫に先だたれたあと、年金が支給されることが決まつたものです

なお、こんどの母子年金は、市内ではじめです。

まちかねた母子年金証書が原田市長から手渡たされた

NHKテレビ中継所の工事進む

NHKテレビがよく見えるようにと、いま市内千望台で、テレビ中継放送所の建設が進められています。

着々進むNHKテレビ中継所の工事

これは留萌、増毛、小平のテレビ難視地区を解決するため、NHKが九月からはじめているものですが、札幌からの電波を、この中継所で受け、さらに強い電波をここから発信する役目をはたすものです。

これが完成しますと、とくに留萌市内では、室内アンテナだけで、NHKテレビがよく見えるようになるとのことです。

なお、この中継放送所は鉄筋二階建の無人局で、札幌から電気操作されるものです。

（写真は、テレビ中継放送所の工事）

広報委員会

三十七年度第一回の市広報委員会が、九月一日市役所会議室で開かれました。

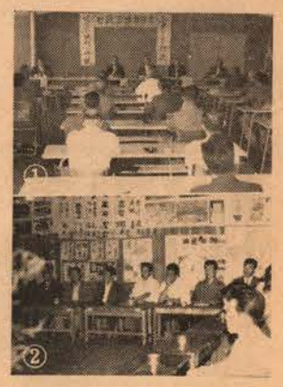
この会議では、広報紙の配布にお世話をねがつている委員の、その後の配布状況を聞くとともに、市政に対する声を地区代表として聞きました。

なお、この協議の中で、今後市民組織ができた場合の広報委員は、組織内から推選を受けた人を市長が委嘱することなりました。

国の行政についての苦情懇談会

国の行政についての苦情懇談会が、九月五日市役所三階会議室で開かれ、集まつた市民から多くの意見が聞かれました。

これは、札幌管区行政監察局長、旭川行政監察局長



青山行政苦情協力相談員などが出席して開かれたもので、国の行政についていろいろの苦情や希望などがのべられました。

写真①

港北青年の会と市政懇談会

港北青年の会と原田市長らの市政懇談会が、九月三日港北小学校で開かれました。

この日市から、市長をはじめ各課長が出席、市政のことについて、集まつた約四十人の若い会員と市政のことについて熱心に話しあいました。

このなかで、原田市長は留萌港の整備が行われれば将来元町地区は一変することになると思うが、その時は、住民と話しあいの上行政を進めたいと、臨港地域となる元町のことについて説明しました。

なお、留萌青年会議所でも、市長をかこんで市政懇談会を開きました。

写真②